

様式第10(第9条の2関係)

汚濁負荷量測定手法届出書

実際に届出書を提出する年月日を記載

年 月 日

尼崎市長 殿

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載する。工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す書類（委任状等）を添付

【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載する。

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇市〇〇町〇-〇-〇

届出者 □□株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

水質汚濁防止法第14条第3項の規定により、汚濁負荷量の測定手法について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	□□□□株式会社 △△事業所	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〒〇-〇〇 〇〇市△△1-1-1	※受理年月日	年 月 日
△汚濁負荷量の測定手法	別紙のとおり。	※備考	

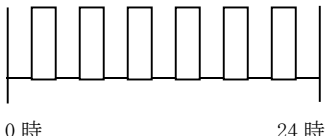
- 備考
- △印の欄については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - ※印の欄には、記載しないこと。
 - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

汚濁負荷量を測定する工場・事業場の名称、住所を記載

特定排水等の汚染状態の計測方法、計測場所等

設置場所	A ———— 測定点毎に用紙を替える		
測定項目	COD	窒素	りん
試料の採取及び試料の計測の場所並びに形状図等	別図(1)のとおり 自動計測機の場合、採取位置、計測機器設置場所を排水経路図に示す。		
汚染状態の計測方法及び測定回数	(1) 水質自動計測器 (COD計) 毎日測定 S54年環境庁告示第20号 別記1の番号を記載	(1) 水質自動計測器 (T-P計) 毎日測定 H13年環境庁告示第78号別記1の番号を記載	(1) 水質自動計測器 (T-P計) 毎日測定
知事が定める方法による場合、その適用条件	知事が定める例外規定による測定の場合、 兵庫県条例告示昭和52年第1251号、平成13年第1023、1024号の番号を記載		
自動計測が困難な根拠 (排水量 400 m ³ /日以上 の事業場等)	日平均排水量が 400 m ³ /日以上 の事業場で自動計測しない場合に記載		
水質自動計測器等の種類 及びその選定の根拠	(株)××製作所 ○○-○ COD計(酸性法)が最も高い 相関が得られたため。	(株)××製作所 ○型 NP メンテナンスが容易で 高精度のため	(株)##製作所 ○型 NP メンテナンスが容易で 高精度のため
	自動計測器の場合、メーカー名、型式、選定根拠等を記載 自動計測機器の仕様、カタログ等を添付		
水質自動測定器等を使用 する等の場合、換算式及 び換算式の根拠	換算式 $y=1.072x-1.489$ 試料数 $n=20$ 相関係数 0.965 変動係数 0.285		
換算式の検証に用いたデ ータ及び散布図等	別表(1)のとおり 別表(2)のとおり		
工事着手予定年月日	○○年○月○日	○○年○月 4日	○○年○月 4日
工事完成予定年月日	○○年○月○日	○○年○月 4日	○○年○月 4日
特定排水等の特性 (汚染状態の変動、工程等)	濃度変動は少ない 食品製造工程排水に一部生活排水混入 濃度変動、量変動、処理方法などを記入		
その他参考事項			

特定排水等の量の計測方法、計測場所等

<p>計測場所</p> <p>項目</p>	A	
<p>計測場所及び形状図等</p>	<p>別図(1)のとおり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">排水経路図に計測点を示す。</div>	
<p>水量の計測法及び測定回数</p>	<p>電磁流量計(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">S54年環境庁告示第20号別記2の番号を記載</div> <p>毎日</p>	
<p>知事が定める適用条件</p>	<p>_____</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">知事が定める例外規定による測定の場合、兵庫県条例告示昭和52年第1251号、平成13年第1023、1024号の番号を記載</div>	
<p>自動計測が困難な根拠 (排水量 400 m³/日以上 の事業所等)</p>	<p>_____</p>	
<p>流量計等の種類及びその選 定の根拠</p>	<p>〇〇社製 電磁流量計 〇〇-〇型 正確でメンテナンスが容易</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">自動計測器の場合、メーカー名、型式、選定根拠等を記載 自動計測機器の仕様、カタログ等を添付</div>	
<p>用水の量を特定排水の量 に換算する場合の換算式及 び換算式の根拠</p>	<p>換算式</p> <p>試料数</p> <p>相関係数</p> <p>変動係数</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">特定排水等を直接測定する場合は記入不要</div>	
<p>換算式に検証に用いたデー タ及び散布図等</p>	<p>別表()のとおり</p> <p>別図()のとおり</p>	
<p>工事着手予定年月日</p> <p>工事完成予定年月日</p>	<p>〇〇年〇月〇日</p> <p>〇〇年〇月〇日</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p>	
<p>特定排水等の特性 (量の変動パターン)</p>		
<p>その他参考事項</p>		

特定排水等の1日当たりの汚濁負荷量の算定方法

	計測場所	算式(L=)	計算の方法	汚濁負荷量の測定回数	特定排水等の濃度(mg/L)	特定排水等の日平均水量(m ³)	特定排水等の負荷量(kg/日)	負荷量の捕捉率(%)
COD	A	———— 測定点が複数あるときは 「A+B+C」 「A+B-C」 (差引法)などと記載	自動演算器 自動演算器(その機能を有する機器)以外の場合は「手計算」とする。	毎日	30 届出(申請)の通常値を記載	70	2.1	100
窒素	A	————	自動演算器	毎日	20	70	1.4	100
りん	A	————	自動演算器	毎日	3	70	0.21	100

備考1 「算式(L=)」欄には、各測定点の負荷量から事業場全体の負荷量を算出する式を記入すること。

2 「計算の方法」欄には自動演算器、手計算等の別を記入すること。